

(8) 会計専門職コース「コアカリキュラム」(履修系統図)

科目区分別の学修目標	1年次			2年次			3年次			4年次		
	第1 Semester	第2 Semester	夏・春休	第3 Semester	第4 Semester	夏・春休	第5 Semester	第6 Semester	夏・春休	第7 Semester	第8 Semester	夏・春休
<p>演習関連</p> <p>基礎演習では、大学生活に必要な知識と技能、専門学修に必要な基礎学力を修得することができる。専門演習・各特別演習では、経営学を中心とする知識や技能、思考法等を修得するとともに、自分の興味・関心、将来の進路志望に合わせてテーマを設定し、最終的に卒業研究としてまとめていくことができる。</p>	基礎演習 A	基礎演習 B		<p>コース選択</p> <p>専門演習 I A 各特別演習 I A</p>	<p>専門演習 I B 各特別演習 I B</p>		<p>卒業研究準備開始</p> <p>専門演習 II A 各特別演習 II A</p>	<p>専門演習 II B 各特別演習 II B</p>		卒業研究 A (必修)	卒業研究 B (必修)	
<p>専門基礎科目</p> <p>経営学に関する基礎科目の学修を通して、基礎知識の修得と諸問題への関心を高めることができる。</p>	<p>経営学基礎 (必修)</p> <p>会計学基礎 (必修)</p> <p>商業学</p> <p>情報リテラシー I</p>	<p>情報リテラシー II</p>										
<p>専門共通科目</p> <p>経営学の基幹科目の学修を通して、専門学修を進めていく上で必要となる基本的な知識や技能、思考法を修得することができる。</p>	<p>※なるべく第1～6 Semesterのあいだに履修することが望ましい：20単位以上選択必修</p> <p>【1年次から】</p> <p>経営管理論 I → 経営管理論 II 経営組織論 I → 経営組織論 II 人的資源管理論 マーケティング概論 現代産業論 I → 現代産業論 II 初級簿記 ビジネス法入門</p> <p>【2年次から】</p> <p>経営戦略論 I → 経営戦略論 II マーケティング戦略論 I → マーケティング戦略論 II 会計学 経営情報論 I → 経営情報論 II 情報管理論 I → 情報管理論 II</p> <p>ビジネス統計学 I → ビジネス統計学 II ビジネスプランニング実践 I → ビジネスプランニング実践 II 外国書講読 A → 外国書講読 B 企業論</p>											
<p>コース基本科目</p> <p>自分の興味・関心、将来の進路志望に合わせて選択されたコース学修において必要となる知識や技能、思考法を修得することができる。</p>	<p>※第2～8 Semesterのあいだに履修：20単位以上選択必修</p> <p>【1年次から】</p> <p>中級簿記 工業簿記</p> <p>【2年次から】</p> <p>上級簿記 → 財務会計論 → 連結会計論 原価計算論 → 管理会計論 経営倫理論 → 企業コンプライアンスとリスク管理 コーポレートファイナンス論 企業形態論 ファイナンシャル・プランニング I → ファイナンシャル 日本経済論 I → 日本経済論 II 企業法 Practical Business English I → Practical</p> <p>【3年次から】</p> <p>租税法 経営分析 I → 経営分析 II 税務会計 I → 税務会計 II ビジネスプレゼンテーション</p> <p>・ プランニング II</p> <p>Business English II → Accounting in English</p>											
<p>キャリア形成科目</p> <p>キャリア形成関連の科目の履修を通して、自身のキャリアデザインに役立てることができる。</p>	<p>ビジネスキャリア基礎 A</p>	<p>ビジネスキャリア基礎 B</p>		<p>ビジネスキャリア研究 A</p>	<p>ビジネスキャリア研究 B</p>	<p>インターンシップ</p>	<p>ビジネスキャリア実践 A</p>	<p>ビジネスキャリア実践 B</p>	<p>インターンシップ</p>	<p>ビジネスキャリア実践 C</p>	<p>ビジネス実践</p>	
<p>外国語科目</p> <p>日本語及び外国語能力、コミュニケーション能力を修得することができる。</p>	<p>外国語 (必修)</p>	<p>外国語 (必修)</p>	<p>いずれか1種類の外国語4単位必修</p>									
<p>共通教育科目</p> <p>幅広い教養及び国際感覚を修得することができる。</p>	<p>共通教育科目から、いずれか1種類の外国語</p> <p>4単位を含む30単位以上の修得が卒業にとって必要である。</p>											
<p>学修目標</p>	<p>1年次の学習目標 (学部共通)</p> <p>▷ 経営学、商学、会計学にかんする体系を理解するとともに、基礎的知識・技能を修得する。</p> <p>▷ 読書力、文章作成力、ICTスキル、コミュニケーション力、調査力といった汎用的技能を向上させる。</p> <p>▷ 英語をはじめとする外国語力を伸ばす。</p> <p>▷ 興味・関心に応じて、人文、社会、自然等の教養分野の知識・技能を修得する。</p> <p>▷ キャリアに関する意識を持つ。</p> <p>▷ 興味・関心、将来の進路志望に対応したコース、演習を選択するために、各内容を理解する。</p>			<p>2年次の学習目標 (学部共通)</p> <p>▷ 経営学・商学・会計学に関する基礎的知識を拡充させるとともに、技能を高める。</p> <p>▷ 専攻分野についての専門的知識・技能の修得に意欲的に取り組む。</p> <p>▷ 汎用的技能をさらに向上させる。課題を見出す力をつける。</p> <p>▷ キャリアに関する意識を高める。</p> <p>▷ インターンシップに取り組む。</p>			<p>3年次の学習目標 (学部共通)</p> <p>▷ 卒業研究を意識して専攻分野についての専門的知識を拡充させるとともに、技能を高める。</p> <p>▷ 汎用的技能をさらに向上させる。課題解決力をつける。</p> <p>▷ キャリアに関する意識を具体化し行動する。</p> <p>▷ インターンシップに取り組む。</p>			<p>4年次の学習目標 (学部共通)</p> <p>▷ 卒業研究を推進させて、卒業論文を完成させる。</p> <p>▷ 社会人としての心得を修得する。</p> <p>▷ 進路に関連する専門知識を拡充する。</p>		
	<p>1年次の学習目標 (会計専門職コース)</p> <p>▷ コース学修の土台となる基礎的知識 (ビジネス会計検定3級、日商簿記検定3・2級) を修得する。</p>			<p>2年次の学習目標 (会計専門職コース)</p> <p>▷ 企業の会計報告、原価管理、業績評価等について理解する。</p> <p>▷ 企業活動を読み解く能力 (ファイナンシャル・プランニング技能士3級、ビジネス会計検定2級) を修得する。</p>			<p>3年次の学習目標 (会計専門職コース)</p> <p>▷ 専門科目の履修を通して、会計の観点から企業経営について理解を深める。</p> <p>▷ 経理・財務・税務の高度な実務能力 (日商簿記検定1級、ファイナンシャル・プランニング技能士2級) を養う。</p>			<p>4年次の学習目標 (会計専門職コース)</p> <p>▷ 会計に関する諸問題に取り組むことによって、課題解決能力をさらに伸ばす。</p>		

コース制と履修モデル

コース制と履修モデル